

全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」取組事例：兵庫県 三木市

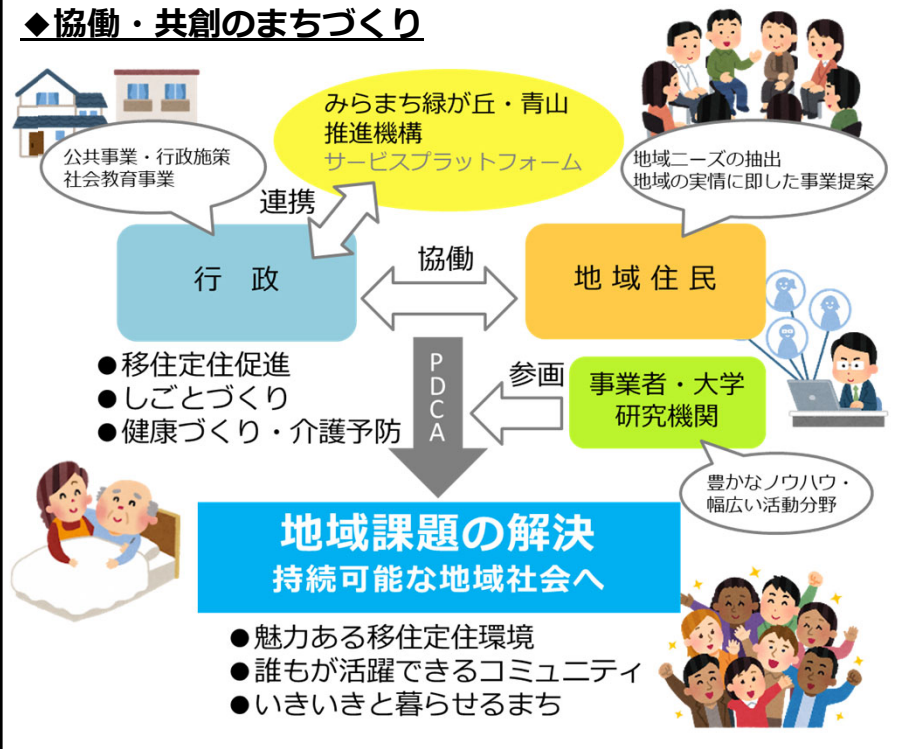
◆コンセプト：「誰もがいきいきと活躍できるまちづくり」

平成28年度から令和2年度までの5か年の地域再生計画（生涯活躍のまち構想）に基づき行ってきた産官学民の連携による取組の成果・ノウハウを生かし、地域の課題解決および移住定住の促進を図るほか、関係人口の増加にも取り組む。

地域住民が主役となる取組を進めることで、誰もが活躍できるまちを目指していく。

- <特徴>
- 産官学民と連携したまちづくり
 - 移住定住のさらなる促進

◆協働・共創のまちづくり



◆誰もが居場所と役割のあるコミュニティづくり

「交流・居場所」

【主な取組内容・進捗状況】

- モデル事業の終了に伴い、緑が丘事業部兼サテライトをR3.3に閉鎖。市内10か所の公民館を核として、地域住民主体によるまちづくりを進めていく

【今後の展開】

- 民間事業者や学校との連携体制をまちづくりに活かしていく。地域住民主体となる取組とすることで、地域住民がそれぞれ役割を持って活躍できるまちをめざす

「活躍・しごと」

【主な取組内容・進捗状況】

- 子育て中の方や高齢者などがそれぞれのライフスタイルに応じた働き方ができる環境整備のため、クラウドワーキングを推進している

【今後の展開】

- クラウドソーシング事業を継続的に普及するため、一般社団法人三木クラウドチームSTACKが設立。地域での仕事を増やし、お金の循環が拡大するよう事業を展開している。

「健康」

【主な取組内容・進捗状況】

- モデル事業の終了に伴い、健康ステーションをR3.3に廃止。介護予防や高齢者支援、24時間健康医療相談ダイヤルなどの取組を市として推進

【今後の展開】

- 健康ステーション事業など健康に関する事業の成果を市が引き継ぎ、健康増進・介護予防の取組や相談業務など、さらなる利便性の追求を含めて引き続き推進

「住まい」

【主な取組内容・進捗状況】

- 増加する空き地、空き家を活用した移住、定住の仕組みづくりを検討

【今後の展開】

- これまで取り組んできた空き家バンク事業を推進するとともに、お試し居住の実施に向けた調査研究など移住定住をさらに促進する仕組みづくりを検討

コミュニティへの人の流れ

- 移住の促進のため、CM放映や映画館CMを実施したほか、市内外のイベントを利用してPR活動を推進している。また、移住の促進や関係人口の増加にも取り組む

その他特徴的な取組

- 民間企業が参画する郊外型住宅団地ライフスタイル研究会と連携した取組を進めている。行政や地域住民だけでなく、民間企業もまちづくりに参画し、それぞれのノウハウを持ち寄ることで、地域課題の解決につなげる

基礎データ

- ・人口：74,649人（R5.2月28日時点）
- ・H28.3 地方版総合戦略を策定、H28.8 地域再生計画（生涯活躍のまち形成事業関係）認定
- ・地方創生推進交付金（H28.第1回）を活用し、サテライト開設、多世代交流イベント開催、PR映像作成などを実施。
- ・地域再生推進法人の指定について現時点では未定。